



秋元 翔太くん
「マンマまだあ？
最近はマンマが大好きです♡」
(下吉田)



横田 紅凜ちゃん
「お兄ちゃんダイスキ♡」
(山田)



上林 蒼昊くん
「やさしい男の子に
なってるね☆」
(荒川上田野)



中戸川 絢ちゃん
「チャームポイントは垂れ目な
おめめと、尖った犬歯です♡」
(上野町)



応募方法

1～1歳半程度の市内在住のお子さんの写真を同封し、住所・保護者の氏名・電話番号・お子さんの氏名（ふりがな）・性別・生年月日・コメントを明記の上、秘書広報課までご応募ください。（メールの場合は、件名に「わが家のアイドル」、本文に必要事項を入力し、500KB以上の画像を添付の上、hisyo@city.chichibu.lg.jp まで）抽選に漏れた方も、2歳になる月まで再抽選します。
※携帯電話のカメラで撮影する場合は、サイズを2M（1080×1920）以上に設定してください。

夢をかなえる 未来にはばたく

秩父地域の高校

生徒が「商品開発」に取り組む！
(皆野高校)



皆野高校は、埼玉県教育委員会から「実践的職業教育グローバル事業」推進指定を受け、商品開発に取り組んでいます。この事業は、専門高校が学校・学科の枠を超えて商品開発チームを組織し、創造力と行動力を持った人材育成を目的としています。

平成26年度は生徒3人が台湾で研修を行い、台湾の高校生と商品を開発し、販売しました。



今年度は2年生7人が羽生実業高校と連携し、イオンリテール株式会社の協力を得て取り組んでいます。生徒たちは、「秩父地域の食材や郷土料理をアレンジした新商品を開発したい」と、アイデアを出し合った結果、「みそポテト」を基にした商品イメージになりました。今後、検討会議を重ねて、2月実施予定の商品発表会、販売会に向けて活動を進めていきます。

生徒たちは、新商品の完成・販売を心待ちに販売促進用ポスター作成等を行っています。新商品の開発・販売の取り組みを通じて、秩父地域の魅力発信、地域活性化に貢献できるよう頑張っています。

市民文芸

短歌

紅葉の参集殿にて賜りし賞を亡き夫に告げて喜ぶ
隣家より菊をいただき父ちゃんの遺影にそなえ手を合わすなり
龍勢の祭りの足あとと残る道コスモスゆれる朝のウオーク
戦時下の慰問袋が縁にて七十余年の交流続く
生徒らの廃品回収マイクより秋の野原を遠く近くに
喜寿のわれ傘寿の友とメル友に時には誤字もいつたりきたり
文化祭痛む足腰だましつづ踊れる幸せ知る八十路われ
命こそ尊きものと知りてなお病身の兄に祈り届けと
運動会花火上がれど外は雨見学あきらめ夕餉の支度す
月の裏ひそかに齧りその夜に三日月にしてしまったの誰あれ
(評) 町田さん、よかったですね。ご主人も喜んでおられることでしょう。浅見さん、思いが充分伝わってきます。齋藤さん、足跡を詠ったことで、前日のにぎわいがよみがえってきます。山口さん、慰問袋とは懐かしい言葉ですね。堀さん、結句が利いています。齋藤さん、下の句に面白さがあります。関根さん、八十路とのことですが、今の時代は、まだまだこれからのことです。栗原さん、いつまでも長生きしてほしいですね。浅賀さん、なかなか思うようにならないことが的確に詠われています。榎本さん、発想も表現もユニークです。

※次回2月号は俳句を掲載します

綾部	光芳	選
下宮地町	町田	要子
荒川上田野	浅見	恒子
下吉田	齋藤	和子
上吉田	山口	富江
下影森	堀	サト子
日野田町	齋藤	ちえ
山田	関根	正子
荒川日野	栗原トク子	
下影森	浅賀	ツネ
黒谷	榎本	久

短歌、俳句の応募は、住所・氏名(ふりがな)を明記の上、必ず官製はがきで秘書広報課までお送りください。1通に2首または2句まで、各1通までです。

短歌 1月末締切→3月号に掲載
俳句 2月末締切→4月号に掲載